

無痛分娩についての説明書・同意書

改：2025.7.17

はじめに

この文章は、無痛分娩について、その目的、内容、合併症などを説明するものです。

1. 無痛分娩とは

無痛分娩とは麻酔を使用する分娩方法で、分娩全ての痛みを取り除くのではなく、最低限度の痛みを抑えるものです。麻酔の効き方には個人差がありますが、心身のストレス緩和や分娩の負担を軽減することができます。

2. 無痛分娩のメリットとデメリット

【メリット】

- 1) 分娩時(陣痛)の軽減により、リラックスして分娩に臨むことができます。
- 2) 会陰切開部や会陰裂傷の縫合時の痛みも軽減されます。
- 3) 分娩時のダメージを軽減することで体力が温存でき、産後の回復も早くなります。
- 4) 緊急帝王切開となった時、速やかに手術に移行が可能です。

【デメリット】

- 1) 麻酔によるリスクが生じます。
- 2) 分娩第2期の延長：子宮口が全開してから赤ちゃんが生まれるまでの時間が長くなる場合があります。
- 3) 器械分娩の増加：吸引分娩や鉗子分娩となる率がやや増えるとされています。

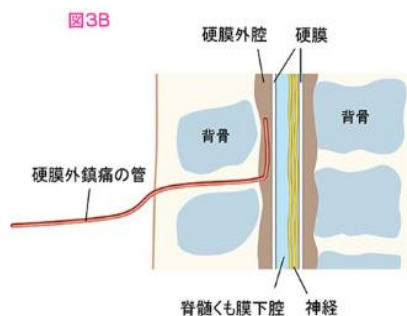
3. 無痛分娩の内容と副作用・合併症

1) 無痛分娩の内容

当院では、代表的な麻酔法である『硬膜外麻酔』を用いた無痛分娩を行っています。『硬膜外麻酔』とは、背中の腰の辺りから硬膜外腔という部分に、細いチューブ（直径 1 mm以下）を挿入し、そのチューブを通して麻酔薬を入れることにより痛みを和らげます。

チューブを挿入するため、当院では原則的に計画的無痛分娩となります。

また、当院では自然陣痛が突然きてしまった場合でも、基本的に無痛分娩の対応が可能です。



←：硬膜外麻酔

日本産科麻酔学会 HP より引用

2) 副作用と合併症

無痛分娩の安全性は確率されていますが、一つの医療行為のため、いくつかの副作用・合併症が報告されています。

【副作用】

1. 血圧の低下
2. かゆみ
3. 体温上昇
4. 胎児一過性徐脈

【合併症】

1. 頭痛：針やチューブ挿入の際に、硬膜が傷つくことが原因で起こることがあります。
2. 硬膜外血腫：硬膜外麻酔を行う硬膜外腔に血腫（血の塊）ができることにより神経を圧迫し、感覚や運動麻痺を起こす可能性があります。
3. 硬膜外膿瘍：硬膜外麻酔を行う硬膜外腔に感染により膿瘍ができることにより神経を圧迫し、感覚や運動麻痺を起こす可能性があります。
4. 局所麻酔中毒：多弁、興奮、耳鳴り、味覚障害、重篤な場合は痙攣、意識障害、不整脈、呼吸停止、心停止
5. 全脊髄くも膜下麻酔：下枝の運動麻痺、呼吸停止、心不全

- 当院では、硬膜外麻酔の経験豊富な医師が挿入し、麻酔・分娩管理をしております。当院での約7,000件に及ぶ無痛分娩では、重症な合併症は発生しておりません。

【麻酔の分娩に対する影響】

1. 陣痛促進剤使用の増加
2. 分娩時間の延長 特に分娩第2期（子宮口が全部開いてからの時間）が延長する。
3. 吸引分娩・鉗子分娩の増加（微増）
4. 産後出血の増加

4. 赤ちゃんへの影響

硬膜外麻酔により、麻酔薬が胎盤を通過して赤ちゃんに与える悪影響はありません。

- 無痛分娩中は赤ちゃんとお母さんの全身状態について常にモニター管理しております。

5. 分娩経過への影響

陣痛誘発剤を点滴し、陣痛をおこします。陣痛誘発剤は、出産時に脳から分泌されるホルモンの一種で、毒性はありません。お母さんや赤ちゃんに直接的な害を及ぼすことはないのですが、一度に大量に投与すると強い陣痛が起こり、赤ちゃんが疲れることがあります。そのため、点滴はポンプを使って、少しずつ量を増やしてモニター管理します。

6. 注意事項

- 1) 血液検査の結果や、背骨周辺の病気、解剖学的理由により、無痛分娩が行えない場合があります。また、背骨の隙間が狭い場合は、挿入を断念する場合があります。
- 2) 疼痛を自覚した時点から麻酔薬を注入し、15分～20分程で痛みが和らいできます。痛みが和らいでこない場合は、お知らせください。再度、麻酔薬を注入し効果を確認します。効き目がよくない場合は、チューブを再挿入することがあります。
- 3) 麻酔薬は痛みを和らげますが、触られている感覚は残ります。その感覚を痛みと感じてしまう方もおります。なんとなくでも痛みを感じた場合はお知らせください。
- 4) 痛みの神経と運動神経は近い位置にあるため、運動神経も一緒に麻痺してしまう場合があります。そのため、普通に歩けるつもりで歩いてしまうと力が入らず転倒してしまう可能性がありますので分娩中に歩行したい場合は、必ず看護師へお伝えください。また、尿は直接カテーテルで取りますので、基本的に歩行の必要はありません。

7. 費用

当院では無痛分娩の費用として、通常の出産費用に加えて10万円いただいております。

以上、上記診療行為につき、説明いたしました。

令和 年 月 日

新中野女性クリニック

医師 _____

私は、担当医師から『無痛分娩についての説明書・同意書』にそって無痛分娩についての十分な説明を受けました。説明内容を理解した上で、無痛分娩を行うことを希望し、また同意します。無痛分娩中に緊急処置の必要が生じた場合は、適宜処置することについても同意します。

医療法人社団 千房会

新中野女性クリニック 院長殿

同意年月日：令和 年 月 日

患者本人氏名： _____